

(西暦) 2005 年 2 月 14 日

(仏暦) 2005 年 2 月 14 日

チェンマイ県土木・都市計画事務所

チェンマイ県土木・都市計画事務所
都市計画 SV-グループ派遣要請案件の概要

1. チェンマイ県の都市計画問題の背景と課題

チェンマイは、タイでバンコクに次ぐ第二の都市であり、北部タイにおける行政、商工業、文化、教育、観光の中心的役割を担っている。また 700 年を越える歴史と伝統文化をもった古都であり、スーテープ山をはじめとする山並みに囲まれた自然景観に恵まれ「森の都」でもある。そして、近年では APEC など重要な国際会議が多く開催されるなど国際都市に発展しつつある。

他方タイ経済は、通貨危機による落ち込みはあったものの、順調な経済成長を続けており、チェンマイでは急速な都市化が進み、都心部では中高層ビルが多く建設される一方で、都市外縁部では次々と中小零細デベロッパーによる無秩序に新興住宅地が開発されて、都市膨張が続いている。

このような都市のスプロールの拡大と自動車交通の急増によって、主要交差点は朝夕の交通渋滞が恒常化し、交通事故も多発し、大気汚染による住民の健康被害が懸念されている。またチェンマイのランドマークである古都地区や旧街道沿いの街路樹にも被害が顕在化してきている。

このように、都市成長期にあるチェンマイは、都市中間層の増大に伴い激しい都市開発の渦中にあるが、チェンマイ県全域の広域都市計画が 1999 年に策定されているものの、おおまかな用途分類による土地利用規制が中心であり、実際に街づくりの方向づけやコントロールは難しい状況にある。

このため、同計画の改定作業のなかで、より具体的かつ実効性のある総合的な都市計画（土地利用計画・交通計画を含む）および地区計画を策定する必要がある。

また、チェンマイの歴史性を生かし真に国際文化観光都市の形成のためには、文化遺産や歴史的景観の保存・活用計画や都市緑化計画の策定、「ヴィエングムカーム地区」において発掘調査中の洪水により埋没した旧都遺跡について、街づくりの中で保存修景していくことも緊急の課題である。

さらに、土地地区画整理法（2004 年）が施行されたことから、市街地整備ために適地を選定して土地地区画整理事業を計画・実施いくことが求められている。

2. チェンマイ県土木・都市計画事務所のプロジェクト概要

2 - 1. チェンマイ県土木・都市計画事務所の責務

内務省チェンマイ土木・都市計画事務所は、タイ都市計画法（1975年）に基づく県広域都市計画（土地利用計画および交通計画を内包する）を策定することが本来責務である。これに加えて、昨年（2004年）末、タイ土地区画整理法が国会を通過したことから、市街地整備のための土地区画整理事業の計画・実施の業務を担当することになった。

また、バンコク一極集中を是正して地方都市を強化しようという政府の基本方針から、チェンマイ県への政府施策プロジェクト（タクシン・プロジェクト）が数多く実施されるが、これらの特設（緊急）プロジェクトの計画・実施・施行管理も重要な業務である。

さらに、現在、地方分権化が進展するなかで、各市町村に委譲された各団体の都市計画及び個別開発事業計画の策定に対して指導・助言の業務がある。この計画策定支援業務に加え、研修等を通じて、北部タイ7県における地域センターとして、都市計画に携わる人材育成を行うという重要な責務をも担っている。

2 - 2. チェンマイ県土木・都市計画事務所のプロジェクトの概要

チェンマイ県土木・都市計画事務所は、上記の責務のなかで、現在、次の6つの主要プロジェクトを推進中である。事業予算、担当スタッフ等の実施体制も整い、今後2年間(または3年間)にわたって実施される。(各プロジェクトの概要については、付属資料を参照してください。)

後述するように、それぞれのプロジェクトについて、調査、分析、計画策定、計画への参加（市町村、住民、NGOなど）の各段階でのわが国の経験・知見によるシニア海外ボランティア（SV）の助言・指導を必要としている。

表-1 チェンマイ県土木・都市計画事務所の主要プロジェクト

プロジェクト名	予算 (バーツ)	面積(平方キロメートル)	受益者数
1. チェンマイ県総合計画事業	200,000.	20,107	1,590,327
2. チェンマイ都市総合計画事業	255,000.	427	586,155

3. 土地区画整理事業 (ワットローケーロー周辺 地区)	50,000.-		2,500
4. グリーン&クリーン事業 (豊かな緑と美しい街づくり)	75,000,000.-	429	586,155
5. 歴史の道サイクリング ロード建設計画	7,500,000.-	500	15,000
6. 歴史観光都市開発整備事業	7,700,000.- 4,000,000.-	2	586,155

3. 都市計画 SVグループの協力目的（要請の理由と必要性）

チェンマイは、700年の歴史を誇る古都であり、タイ第二の都市として急速に発展をとげてきたが、背景と課題にみられるように、現在都市計画上のさまざまな課題に直面している。とりわけ、都市開発と景観および環境の保全をいかに共生させていくかが重要となっている。

しかし、都市計画に携わるタイのプランナーには、この分野の経験や知識が乏しい。日本のSVグループに、土地利用(区画整理を含む)・交通・景観保全の個別分野の技術的アドバイスに加えて、開発と保全のバランスについての経験にもとづくアドバイスを得たい。

チェンマイ県の都市計画に関する業務は、前述したように、広範で多岐にわたり、かつ相互に密接な関連性がある。さらに、通常の計画業務のほかに、政府・首相直轄のプロジェクト（たとえば、グリーン&クリーンプロジェクトやピン川浚渫プロジェクト）の実施に伴う緊急業務もしばしば発生する状況にある。

SVグループには、通常の計画業務へのアドバイスに加えて、緊急の計画業務についても技術的アドバイスを適宜に得たい。

今後2年にわたる主要プロジェクトの進捗状況、SVグループ・メンバーの相互補完性を勘案して、少なくとも、つぎの3つの専門分野の経験・知識を有するSVが必要である。

- (1) 都市計画・土地利用計画（交通計画を含む）
- (2) 土地区画整理事業計画

(3) 都市保全計画（景観・歴史的遺産・古都保存等、文化財保護）

4. 都市計画 SVグループの具体的な協力内容

6つの主要プロジェクトについて、SVグループ・メンバーに具体的なアドバイスを得た内容はつぎの通りである。

(1) チェンマイ県総合計画作成（2005～2006年）

(2) チェンマイ都市総合計画作成（2005～2006年）

現行の総合計画は1999年に作成され、5年ごとの計画改定期限にあり、現在改定作業中である。チェンマイ県の広域および都市計画区域内の有機的な都市機能分担を図る交通体系や無秩序な都市開発を防止する土地利用計画（規制）など、都市計画・土地利用計画・交通計画へのアドバイスがみつようである。

(3) ワットローケーロー寺院周辺地区土地区画整理事業（2005～2007年）

タイ土地区画整理法が施行されることになり、チェンマイでも新しい市街地整備の手法として導入されることになった。タイへのこの手法の導入には7年間におよぶJICAの「タイ国都市開発技術向上計画プロジェクト」の貢献がある。その成果を活用して、現況調査から事業化の方向づけに至る事業計画へのアドバイスが必要である。

(4) グリーン&クリーン事業（豊かな緑と美しい街づくり）（2005～2006年）

具体的には、まちの再生とウワラーイ地区を中心としたまちの景観整備計画へのアドバイスが必要である。

(5) チェンマイーヴィエングムカーム歴史の道サイクリングロード建設計画（2005～2006年）

具体的には、サイクリングロード沿いの景観整備計画へのアドバイスを必要としている。

(6) 歴史観光都市開発整備事業（2005～2006年）

具体的には、歴史的な町並み保存と景観整備、そのための施設整備や歩行者天国（道路開放による市場）の整備等へのアドバイスを望んでいる。

5. チェンマイ県土木・都市計画事務所のSVグループ受け入れ体制

(1) SVグループ・メンバーとカウンターパート

SVグループにおける専門分野のメンバーとコーディネーター（調整員）に対するカウンターパートとはつぎの通りである。

表-2 チェンマイ県土木・都市計画事務所の受け入れ体制 - カウンターパート

SV 担当分野	カウンターパート
1. 都市計画・土地利用計画（交通計画を含む）	1. Ms.ポチャニー
2. 土地区画整理事業計画	2. Mr.スポット・ヨットシンカム （土木建設技師 8級）
3. 都市保全計画（景観・歴史的遺産・古都保存等、文化財保護）	3. Mr.テイラユット・クーカムサイ （建築士 第5級）
4. コーディネーター（調整員）	4. Ms.アンパーボン・ゲーオゲート （都市計画分析担当 6級） 5. Mr.アディサック・ノースワン （プランナー 7級）

(ア) 事務所および就務環境

SV グループ・メンバーの合わせて4名のための就務スペースは、確保されている。

(3) 資機材等

北部7県の都市計画に携わる人材育成の地域センターとして、JICA より供与された2台の大型プロッターをはじめ、各種の機材がある。

5. 期待される成果

(ア) 日本での都市計画、まちづくり、区画整理、景観保存、古都保存などの経験を活かしたアドバイスが得られる。

(イ) SV からタイ人に知識・経験が継承され、開発と保全の共生など計画レベルの向上に寄与する。

(ウ) その結果として、チェンマイが古都の景観を保持し、緑豊かで美しい国際文化観光都市に発展していく一助になる。